

第69回青雲塾 ご案内

青雲塾担当 松井繁幸（第23期）
西尾公一（第25期）

<http://www.seiunkai.net/kouryu/seiunjuku/list.html>

1. 日時 2021年1月23日（土） 午後2時00分～4時00分（休憩・質疑応答含む）
2. 場所 大阪大学中之島センター 講義室602（30席）
大阪市北区中之島4-3-53 電話 06-6444-2338
（京阪中之島駅より歩いて3分／地下鉄四つ橋線肥後橋駅・JR新福島駅より歩いて約10分）
3. 講師 高橋 慶吉 先生（大阪大学大学院 法学研究科 准教授）
4. 会費 無料
5. 演題 『コロナ・パンデミックとアメリカ政治』
6. 講師のプロフィール

2000年3月 大阪大学法学部卒業（青雲会48期）
2002年3月 大阪大学法学研究科博士前期課程修了
2005年5月 ペンシルヴァニア大学歴史学部大学院修士課程修了。その後、助手、助教を経て、
2010年4月から現職
（研究内容・専門分野）アメリカ外交史
（最近の主な著書）
・『米国と戦後東アジア秩序－中国大国化構想の挫折』有斐閣、2019年12月

7. 講師からひと言

2019年8月から1年間、アメリカに在外研究に行っておりました。滞在先はヴァージニア州アーリントン。そこでの生活が2020年3月、コロナ・パンデミックにより一変いたします。今回の青雲塾では、現地での経験談を織り交ぜながら、コロナ危機をめぐるアメリカ政治についてお話したいと思っております。これまでアメリカは、大統領の強力なリーダーシップのもと、国民がそれなりに団結することで、いくつもの国家的危機を乗り越えてきました。しかし、今回のコロナ危機では従来見られた危機対応のパターンが見られません。アメリカ社会はリベラルと保守の間で激しく分裂したまま、トランプ大統領はそれをまとめる努力をせず、危機対応の多くを州に任せます。議会民主党も党派的行動に終始し、その結果が20万人を超える死者です（青雲塾が開かれるころには30万人を超えているかもしれません）。

ジョンズ・ホプキンス大学が2019年にまとめたレポートは、アメリカをパンデミックに対する備えがもっとも充実している国家として評価しておりました。その国家が、コロナ・パンデミックにおいて世界最大の死者を抱えるまでになってしまっております。今回の青雲塾では、そのことに対する政治の責任について考えます。

8. 青雲塾担当から

高橋先生には、2017年11月の第58回青雲塾で講師をお願いして以来、2回目の登板をお引き受けいただきました。ご多忙のところ、お時間を割いていただき恐縮です。https://www.seiunkai.net/images/kouryu/seiunjuku/2017/58_f.pdf

今タイムリーな話題ですから、皆さん、大統領選挙の仕組み、アメリカ人の政治意識、地域による特性など、興味を持たれているかと思っております。メディアの報道だけでは、なかなか解（げ）せないところを、わかりやすくときほぐしていただければ幸いです。私自身も楽しみです。学生の皆さんにも是非、お勧めしたいですね。（松井）

☆ 時節柄、次のことにご注意ください。

- ・当日自宅で検温の上、マスクをご用意し、体調を整えお越しください。
- ・中之島センターの1階玄関で、手指の消毒をお願いします。
- ・茶話会は残念ながら、今回、中止と致します。

✂-----✂-----✂-----✂-----

第69回青雲塾 1月23日（土）

★申込先：青雲会事務局へお願いします。電話&FAX：06-6850-5198 Mail：ishibashi@seiunkai.net

-----青雲会事務局連絡用-----

（出席 欠席） します

お名前 (期)

当日の連絡先 電話番号